

のしろ市議会だより

わたし まち

2018年(平成30年) 4月25日 第48号



「マコモダケ! とったどー!」～豊島区中学生2泊3日の「いなか体験」～

◆ 特集 ◆

能代市の教育連携

特集	2P
3月定例会の概要・審議結果一覧	3P～6P
一般質問	7P～9P
各委員会での主な審査概要	10P～12P
平成29年度政務活動費を公表します	13P
議長・議会の主な動き ほか	14P



平成30年3月定例会
録画中継ページ

◆特集◆能代市の教育連携

能代市は平成25年の東京都豊島区との教育連携協定締結以降、生徒・教職員等の情報交換・交流・訪問等を通じて、児童生徒の学力向上へ向けた双方のすぐれた取り組みを学び合っています。

29年度の取り組みの中から、生徒交流事業の一部を紹介します。

能代市から豊島区へ

29年7月31日から8月2日、能代市の中学生14名（全7校2名ずつ）と引率者4名が豊島区を訪問し、池袋防災館で地震・消火等の体験を行いました。また、豊島区新庁舎や豊島の森を見学し、豊島区立池袋中学校への訪問では、挨拶運動や生徒会新聞、意見箱の取り組みなどが紹介され、お互いの発表やグループ討議を行いました。立教大学の留学生や豊島区の中学生とイングリッシュキャンプへ参加し、学校の授業とは異なった学びを体験しました。そのほか、国の有形重要文化財の鬼子母神堂の見学・講話など、都会ならではの活動や長い歴史と伝統に触れながら見聞を広げ、生徒会活動について生徒同士で語り合いました。

参加した生徒からは、豊島区の中学生との交流を通じ、改めてふるさと能代のよさや誇りを感じたこと、また、得た学びと自信を今後の中学校生活やふるさと能代のために生かしたいとの感想がありました。

豊島区から能代市へ

29年11月3日から5日、豊島区の中学生16名が来能、農家に民泊し“いなか”を体験しました。今回は二ツ井地区・外荒巻地区・檜山地区の合計6軒の農家が受け入れに協力してくださいました。ここでは、マコモダケ収穫などの農作業や、きりたんぼ・だまこもちなどの郷土料理づくりを体験し、味わいました。そのほか、能代工業高校バスケット部の練習やバスケットミュージウムを見学したほか、組子コースターの製作体験、風の松原の散策、火力発電所の見学やまち歩きなどを通じ、能代市の中学生との交流を楽しみました。



池袋での生徒会交流会



能代でのきりたんぼづくり体験

豊島区との教育連携は「教育」をテーマとした自治体間の連携として全国の先進事例となつていきます。教育連携の成果は、今後も各教員、各小・中学校において共有され、より質の高い教育活動の展開へとつながっていくことが期待されています。また能代市は、豊島区のほか、茨城県坂東市、長野県箕輪町と教育交流をしています。

なお、表紙のマコモダケは、マコモと呼ばれるイネ科の植物で、食感はタケノコに似ています。檜山地区では栽培を始めて3年目であり、無農薬で栽培しています。収穫時期は例年10月初旬から11月初旬と短く、生産量はまだまだ少ないため、市内では知らない人も多い現状ですが、各種ビタミン、食物繊維、カリウム等が含まれ、便秘の解消、デトックス効果、生活習慣病の予防に役立つとされています。

取材：落合範良 渡邊正人

東京都豊島区との教育連携協定（平成25年1月19日締結）より抜粋

豊島区と能代市は、児童・生徒の学力向上へ向けた取組で互いのよさを共有し、今後、一層、教育の質の向上に資するため、両都市間の交流から生まれる豊かな実りを次の世代に引き継いでいきたいと願っています。

3月定例会の概要

平成30年度一般会計予算は賛成多数で可決

3月定例会は、2月20日から3月14日まで23日間の会期で行われました。提出された議案は、30年度一般会計予算、10の特別会計予算、2つの企業会計予算など全51件と、議員発議の問責決議案1件で、審査の結果、全ての議案を可決・同意しました。

また、陳情は1件を採択、1件を不採択としました。

また、小野立議員より議員辞職願が提出され、全会一致で辞職が許可されました。

主な単行議案

◆能代市史（旧能代市）の編さんに関する条例を廃止しました

能代市史（旧能代市）編さん事業の終了に伴い、条例を廃止しました。

◆能代市庁舎建設基金条例を廃止しました

庁舎整備事業の終了に伴い、能代市庁舎建設基金を廃止しました。

◆能代市道の駅ふたついの指定管理者を指定しました

道の駅ふたついの指定管理者を、株式会社道の駅ふたついに指定しました。（指定期間 平成30年7月1日～35年3月31日）

◆能代市介護保険条例を一部改正しました

平成30年度から32年度までの第1号被保険者の保険料額等を定めました。

◆能代市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例を制定しました

介護保険法の一部改正に伴い、これまで県が条例で定めていた指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準について、市の条例で定めました。

◆能代市立学校条例を一部改正しました

崇徳小学校及び鶴形小学校を第五小学校に、常盤中学校を東雲中学校に統合することに伴い、崇徳小学校及び鶴形小学校並びに常盤中学校を平成31年4月1日に廃止します。

◆能代市二ツ井農産物直売所設置条例を廃止します

能代市共用自転車駐車場設置条例を廃止します

日本海沿岸東北自動車道の延伸による一般国道7号二ツ井今泉道路事業に伴い、能代市二ツ井農産物直売所及び能代市共用自転車駐車場を7月1日に廃止します。

◆能代市商工業振興促進条例を一部改正しました

工場等の新設等に対する奨励措置について適用期間を3年延長し、平成33年3月31日までに工場等の新設等が完了したものとしました。

◆能代市中小企業融資あっせんに関する条例を一部改正しました

中小企業融資あっせんにおける小規模企業融資について、限度額を現行の1250万円から1500万円へ引き上げました。

◆能代市道路占用料徴収条例を一部改正しました

道路法施行令で規定されている道路占用料が、地価水準等を勘案し改正されたことに伴い、条例に規定する道路占用料の額等を改正しました。

◆能代市都市公園の設置に関する基準等を定める条例を一部改正しました

都市公園法施行令の一部改正に伴い、都市公園内に設ける運動施設の敷地面積の基準を定めました。

30年度一般会計予算

30年度当初予算は、市長改選期のため基本的には骨格予算となるものの、事業継続に支障があるものや、市民生活に影響があるものについては、当初から計上することとし、予算総額は272億5900万円、前年度当初予算と比較すると10億9600万円、3.9%の減額となりました。

当初予算の主な新規事業

◆道の駅ふたつい施設管理費

141,275,000円

道の駅ふたつい指定管理料等、施設を管理するための経費です。

◆川の駅整備事業費

1億4663万6000円

道の駅ふたついと一体的に整備する川の駅の、力又一艇庫建設工事、アクセス道路整備工事、川の駅エリア等周辺施設整備工事、歩道橋整備工事等を行います。

◆在宅障害者支援施設空調設備等改修事業費

236万8000円

在宅障害者支援施設（とらいあんぐる）の空調設備を改修するため、工事の実施設計を委託します。

◆子ども・子育て応援団体支援事業費

75万円

子ども・子育て団体等が子育て世帯の交流の場を提供する等、子育てを応援する活動に対し助成します。

◆子育てファミリー支援事業費

30万円

平成30年4月2日以降に第3子以降が生まれた世帯に対して、未就学期間の一時預かり事業、病児保育事業、ファミリーサポートセンター事業の利用料を助成します。

◆子育て世代包括支援センター事業費

111万3000円

子育て支援課内に、子育て世代包括支援センターを新たに開設します。

◆戦略作物生産拡大基盤整備促進事業費負担金

300万円

河戸川地区にある県営畑地のかんがい用揚水機設備の更新事業に対する負担金です。

◆林地台帳整備事業費

653万3000円
林地台帳システム導入業務と、林地台帳地積情報追加作業業務を委託して整備します。

◆仁耐水沢スギ植物群落保護林遊歩道整備事業費

2500万円
保護林の遊歩道を整備するため、測量設計業務を委託し、遊歩道改良工事を行います。

◆教育施設長寿命化計画策定事業費

1231万2000円
各施設の現状を把握し、施設の維持管理、更新等を着実に推進するため、教育施設長寿命化計画を策定します。

◆奨学金返還助成事業費

108万円
市内に居住する就労しながら奨学金を返還している方へ返還額の一部を助成します。

◆小規模小学校統合事業費

186万3000円
常盤中学校統合事業費

100万3000円
交流事業の経費と、閉校記念事業に対する補助金等です。

◆二ツ井地域図書館整備事業費

4907万6000円
二ツ井町庁舎3階へ図書館を整備するための、図書館整備工事費、書棚・閲覧用机等購入費、ロードサイン等設置業務委託料、図書館システム導入業務委託料等の経費です。

30年度一般会計補正予算

補正予算（第1号）は1億1758万9000円が減額され、予算総額は271億4141万1000円となりました。

国の補正予算に伴い、30年度当初予算に計上していた県営ほ場整備事業費の一部を29年度へ前倒ししたため、30年度予算から減額しました。

30年度特別会計・企業会計予算

- ・簡易水道事業特別会計予算
- ・農業集落排水事業特別会計予算
- ・浄化槽整備事業特別会計予算
- ・浅内財産区特別会計予算
- ・常盤財産区特別会計予算
- ・鶴形財産区特別会計予算
- ・檀山財産区特別会計予算
- ・国民健康保険特別会計予算
- ・後期高齢者医療特別会計予算
- ・介護保険特別会計予算
- ・水道事業会計予算
- ・下水道事業会計予算

29年度一般会計補正予算

補正予算（第9号）は1億4265万5000円が減額、（第10号）は2億4064万5000円が追加され、予算総額は293億5834万5000円となりました。

補正予算の主な内容・事業

◆減債基金積立金

4億3281万2000円
庁舎建設基金の廃止に伴い、残高を減債基金に積み立てます。

◆ふるさと納税基金積立金

1538万2000円
29年1月から12月までのふるさと納税寄附金等により積み立てる額をふやします。

◆ネットワーク型園芸拠点整備事業費補助金

929万3000円
「白神ねぎ」のさらなる生産拡大を図るため、園芸メカ団地の周辺に形成するサテライト型団地の整備費に對し助成します。

◆技術開発センター・木の学校改修事業費

8868万1000円
作業場の改修工事、トイレ整備工事、先進機械の導入を行います。

◆県営ほ場整備事業費

1億1758万9000円
国の補正予算に伴い、着実に事業を推進するため、30年度当初予算に計上していた事業費の一部を29年度へ前倒しし、予算を繰り越して実施します。

◆耐震補強事業費

5546万円
浅内小学校の耐震改修工事を行います。

29年度特別会計・企業会計補正予算

- ・簡易水道事業特別会計補正予算
- ・浄化槽整備事業特別会計補正予算
- ・浅内財産区特別会計補正予算
- ・鶴形財産区特別会計補正予算
- ・檀山財産区特別会計補正予算
- ・国民健康保険特別会計補正予算
- ・後期高齢者医療特別会計補正予算
- ・介護保険特別会計補正予算
- ・水道事業会計補正予算
- ・下水道事業会計補正予算

人事案件

次の人事案件に同意しました。

○人権擁護委員

- 北條 寛子
 - 三浦 洋子
 - 柳谷美喜子
- (敬称略)

一部事務組合議会議員等の選出

小野立議員が2月27日付で辞職したことにより、欠員となった役職について、選挙または選任しました。

- 能代山本広域市町村圏組合議会議員
 - 落合 康友
 - 落合 康友
- 議会運営委員長
 - 落合 康友
- 総務企画委員会副委員長
 - 中田 満

審議結果一覧

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 一：退席
 ※議長は可否が同数の場合と特別多数議決事件以外は採決に加わりません

議案番号等	議案名等	採決結果	平政・公明党							希望				改革ネットワーク (市民の声、日本共産党、改革のしろ)				議会改革を推進する諸派の会				
			渡邊正人	落合範良	針金勝彦	原田悦子	庄司紘八	渡辺優子	後藤健	藤原良範	武田正廣	菅原隆文	佐藤智一	伊藤洋文	安井和則	菊地時子	小林秀彦	安岡明雄	渡辺芳勝	藤田克美	落合康友	中田満
1	能代市史(旧能代市)の編さんに関する条例の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	能代市庁舎建設基金条例の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	能代市過疎地域自立促進計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	能代市道の駅ふたついの指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	能代市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	能代市国民健康保険事業財政調整基金設置及び管理条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	能代市介護保険条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○
8	能代市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	能代市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	能代市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	能代市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	能代市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	能代市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	能代市立学校条例の一部改正について ※この議案は、能代市立学校条例第3条に規定する、議会において、出席議員(議長を含む)の3分の2以上の者の同意が必要な、特別多数議決事件です。	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●
15	能代市二ツ井農産物直売所設置条例の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	能代市二ツ井農産物直売所の指定管理者の指定の一部変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	能代市商工業振興促進条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	能代市中小企業融資あつせんに関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	能代市共用自転車駐車場設置条例の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	能代市道路占用料徴収条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	能代市都市公園の設置に関する基準等を定める条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	能代市簡易水道事業特別会計への繰入れについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	能代市農業集落排水事業特別会計への繰入れについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	能代市浄化槽整備事業特別会計への繰入れについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	平成29年度能代市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

審議結果一覧

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 一：退席

※議長は可否が同数の場合と特別多数議決事件以外は採決に加わりません

議案番号等	議案名等	採決結果	平政・公明党							希望				改革ネットワーク (市民の声、日本共産党、改革のしろ)				議会改革を 推進する 諸派の会					
			渡邊正人	落合範良	針金勝彦	原田悦子	庄司紘八	渡辺優子	後藤健	藤原良範	武田正廣	菅原隆文	佐藤智一	伊藤洋文	安井和則	菊地時子	小林秀彦	安岡明雄	渡辺芳勝	藤田克美	落合康友	中田満	畠山一男
26	平成29年度能代市簡易水道事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	平成29年度能代市浄化槽整備事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	平成29年度能代市浅内財産区特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	平成29年度能代市鶴形財産区特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	平成29年度能代市檜山財産区特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	平成29年度能代市国民健康保険特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	平成29年度能代市後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	平成29年度能代市介護保険特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	平成29年度能代市水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	平成29年度能代市下水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	平成30年度能代市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○
37	平成30年度能代市簡易水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	平成30年度能代市農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	平成30年度能代市浄化槽整備事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	平成30年度能代市浅内財産区特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	平成30年度能代市常盤財産区特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	平成30年度能代市鶴形財産区特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	平成30年度能代市檜山財産区特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	平成30年度能代市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	平成30年度能代市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	平成30年度能代市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○
47	平成30年度能代市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●
48	平成30年度能代市下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	平成29年度能代市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	平成30年度能代市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議1	小野立議員に対する問責決議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●
陳64	萩の台線の安全性確保について	採択	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳65	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書提出について	不採択	●	●	●	●	●	●	●	議長	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○

渡辺 優子

平政・公明党

介護保険料引き上げの要因は

【問】 介護保険の第1号被保険者の保険料について、第6期の基準額月額5775円から約18%の引き上げが示され、6800円と見込まれる。どのような要因で引き上げに至ったのか。

【答】 このたびの保険料の算出では、後期高齢者等の増加に伴い、要介護認定者数が増えたと見込んだことに加え、特別養護老人ホーム開設による介護給付費等の増、国の制度改正等による介護報酬の引き上げ、介護を理由とした離職の防止等による介護給付費等の増のほか、法令の改正により第1号被保険者の負担割合が1%増すことも影響している。

学校での突然死ゼロを目指した危機管理

【問】 本市の児童生徒、教職員に対して、心肺蘇生とAEDに関する教育を推進し、学校での危機管理体制を拡充の上、児童生徒の命を守るための安全な学校環境を構築すべきでは。

【答】 この2年間でAEDを使った授業は、小学校では12校中6校、中学校では7校中6校で行われている。今後は各校の実情に応じ、小学校高学年以上でAEDの操作ができるよう取り組んでいく。教職員は実践的な講習を行っている。今後は、学校の危機管理体制をさらに充実させるため、教職員が年に1度はAED講習を受けられるよう呼びかける。

その他の質問事項

○大規模災害限定の消防団員制度

佐藤 智一

希望

出生数の推移から取り組みをどう評価

【問】 ここ10年の出生数は、平成19年4000人、23年2911人、28年269人と減少傾向である。この実態から、これまでの取り組みをどう評価しているか。

【答】 本市の出生数は減少傾向で推移していたが、ここ10年間で最も少ない26年度の249人に対し、その後は27年度が256人、28年度が269人と増加しており、引き続き取り組みを進めていきたい。

結婚支援センターの常設を要望する考えは

【問】 新年度には月数回のサテライトセンター開設が予定されている。より利便性を高めるため常設を求めていく考えは。

【答】 4月からは主に勤労青少年ホームを会場に毎月4日間、サテライトセンターの開設が予定されている。結婚支援センターの常設は、本市で気軽に利用が可能となるメリットはあるが、常設場所や費用負担等の課題も考えられることから、要望については、出張センター及びサテライトセンターの今後の利用実績や利用者の声を聞きながら検討したい。

その他の質問事項

- 出産奨励金等の助成金に対する評価は
- ひとり親世帯が安心できる生活環境
- 日本版B・Dによる新たな地域振興

菊地 時子

改革ネットワーク（市民の声、日本共産党、改革のしろ）

子どもの未来応援計画

【問】 貧困の解消に向けた新たな施策は検討されたのだろうか。子どもの成長にとって必要な支援「子どもの医療費の助成拡大」「子どもの就学のための経済的支援」を望む声が多い。施策の考えは。

【答】 貧困線未満の世帯やひとり親世帯からは、「生活のための経済的支援」や「学校以外の学習のための費用に対する支援」を望む声もあり、世帯の状況によって必要とする支援に違いがある。また、計画策定委員会からは、行政と各種団体等の連携が重要との意見等がある。アンケート結果や意見、事業の検証等を踏まえ、施策の検討をしていきたい。

国保被保険者に対する必要な医療の確保

【問】 国保税の滞納で保険証を返還し、体に異常を来しても病院に行かずに悪化、手遅れという事例もある。インフルエンザの感染拡大防止の必要性からも短期被保険者証を発行し、受診できるようにすべき。

【答】 福祉医療等の対象者、高校生までは、短期被保険者証を交付している。また、滞納額に著しい減少がある場合、納税誓約をした場合、特別の事情がある場合は、短期被保険者証に切りかえている。さらに、世帯主から申し出があり、緊急的な対応として市の判断により交付する場合がある。インフルエンザの感染拡大の防止は交付理由にならないと考える。

その他の質問事項

○医療機関窓口で短期被保険者証にできないか

落合 康友

議会改革を推進する諸派の会

中学校の健全な部活動運営への認識

【質】 学校教育現場の社会問題で世論で取り沙汰される「ブラック部活問題」。長時間のハードな練習を強いられる生徒の立場や、部活動指導の教職員の過酷な労働環境を指す。市の考え方と現状認識は。

【答】 部活動は学校教育の一環であり、生徒の健全な心身の育成に大きな役割を果たしている。市では、生徒や教職員の負担軽減のため、市校長会や中学校体育連盟との申し合わせにより、平日1日及び第1・第3日曜日を休止日としている。また、1日の練習時間を3時間以内にするなど、各校においては正常な部活動運営がなされていると認識している。

公立保育所での弁当持参希望者への対応

【質】 アレルギー等の身体的理由で代替給食を希望する家庭がふえているが、最近では食に対する価値観や安全意識の高まりからか、弁当等代替食の持参を希望する家庭も少なくない。希望者への市の対応は。

【答】 保育所での食事は、栄養の摂取という養護的側面、食育という教育的側面から、保育の一環として非常に重要な役割を担っている。現在入所中の保護者から、身体的理由及び個人的理由により弁当等による代替食を持参したい旨の相談がないことから、現時点で一律的な対応は決めてないが、今後、相談があった場合は、個別に対応を検討したい。

その他の質問事項

- 中学校の部活動は全員加入制か
- 他校の部活へ入部希望の生徒への対応
- 齊藤市政三期目の総括は

落合 範良

平政・公明党

小規模校の統合による空き校舎の利活用

【質】 木都能代の象徴として全国的にも注目を浴びて完成した崇徳小学校の校舎だが、小規模校の統合により平成31年4月に空き校舎となる。歴史民俗資料館として利活用する考えは。

【答】 市としては、歴史民俗資料館は必要な施設であると認識しているが、活用を検討していた第一庁舎が庁舎として使用されることとなったことから、他の既存施設の活用の検討も含め、まちづくり全体の中で設置時期や場所、手法について検討することとしている。崇徳小学校の校舎の活用についても、この中で検討していく。

公共交通未整備地域の交通体系見直しを

【質】 運転免許の自主返納がふえることが予想されるが、免許を手放しても生活できる環境はつくるべき。現在実施しているデマンド型乗合タクシーの使い勝手をよくするなど、運行体系を見直すべきでは。

【答】 市では平成30年度、能代市地域公共交通網形成計画を策定することとしており、高齢者等交通弱者の生活に欠かせない足を確保し、安全・安心な暮らしに寄与するための施策を柱としながら、より利便性の高い、持続可能な公共交通ネットワークの形成を目指したいと考えている。

その他の質問事項

- 平成30年度予算編成への思いは

菅原 隆文

希望

高校生の地元就職支援の具体策

【質】 2回目となった、高校2年生対象の企業・業種ガイダンスの評価と今後のあり方は。また、北秋田市で実績を上げている、高校生対象の介護職員初任者研修資格取得経費、全額補助制度の導入検討を。

【答】 ガイダンス参加企業や学校、生徒の評価は高く、関係団体からは継続を望む声がある。また、内定先のうち能代山本地域の事業所が占める割合も上昇しており、高校生の地元就職の推進に効果が見込まれると考えている。高校生を対象とした介護職員初任者研修については、学校や介護事業者、関係団体等の意見を伺いながら、事業の有効性を研究したい。

能代港から中国へ輸出、秋田杉材の可能性

【質】 ここ一年、中国への秋田杉材の輸出が好調である。利活用、販路拡大のためにも、業界・行政こそつて、オール能代で状況視察を。秋田杉の国際ブランド化も急ぐべきではないか。

【答】 現在、民間取引として小径木の輸出が順調であり、当面その動向を注視していく。利活用状況の視察についても今後の推移を見ながら対応したい。ブランド化については、県外や海外で県産材の展示会や即売会を行うなど、秋田スギのPRと販路拡大を推進している。市としても関係機関と連携し、ブランド力向上に向けた取り組みを検討したい。

その他の質問事項

- 買い物弱者対策、移動販売支援を
- 寒かった冬、水道凍結や除排雪は
- 能代署管内の自殺増、市役所内の予防対策

小林 秀彦

改革ネットフック（市民の声、日本共産党、改革のしろ）

介護保険料負担増への市の考えは

【質】 第1号被保険者の介護保険料が、月額で1025円増額となる予定である。保険料の高さに年金生活者が負担の重さを訴えている。市として、こうした声にごう答えるのか。

【答】 保険料については増加状況が続いており、多くが年金生活者である第1号被保険者にとっては、負担になるものと考えている。市では、これまで以上に、介護予防や自立支援・重度化防止への取り組みを推進し、元気な高齢者の増加を図るなど、保険料の上昇を抑制するための取り組みも進めていくため、市民の皆様には御理解をお願いしたい。

脳ドック検診への助成の考えは

【質】 脳血管疾患や脳腫瘍などの有無を調べる検査として脳ドックが有効だが、高額な費用がかかる。脳疾患の予防と早期発見、早期治療を促進するため、脳ドック検診への助成を検討すべきでは。

【答】 市では、食生活、運動、禁煙等について、医師による講話、調理実習における減塩指導等の生活習慣改善や疾病予防対策に重点的に取り組んでいる。脳ドックは、検診費用が高額であることから助成費用も多額の経費を要するため、実施については今後も検討を続けることに、予防事業の充実・強化に努めたい。

その他の質問事項

- 能代市保健センターの今後のあり方
- 小規模小学校、中学校の統合

中田 満

議会改革を推進する諸派の会

私にはプランがありますの具体的な中身

【質】 最初の市長選で12項目を公約されたが、総花的印象も受ける。その成果と反省点はなかったのか。

【答】 市長就任後、合併前からの課題、新市の行政対応や当面する課題解決に取り組むとともに、私の思い描く能代市の将来に向け、能代市総合計画を策定してさまざまな施策を推進し、関係指標等に見られる成果を上げてきた。課題としては、さらなる人口減少・少子化対策、中心市街地の活性化等と捉えており、これらの施策は、第2次総合計画に盛り込む。

中心市街地活性化の現状と今後

【質】 中心市街地活性化は市長の言葉の端々からは、十分でなかったとも受けとめられる。能代では何が問題で、行政は何に緊急に取り組まなければならないのか。

【答】 商店街の振興、空き店舗や老朽建屋対策、能代北高跡地や能代駅前の公設市場跡地の利活用等などのように取り組んでいくのか、また、取り組みに当たって民間がどのような役割を担い、市はどのような連携を図っていくのが課題であり、中心市街地活性化推進協議会、関係団体の意見・提案等を踏まえながら取り組みを進めたい。

その他の質問事項

- 地場産業の振興
- 企業誘致の効果的な支援策
- 農家の高齢化、担い手不足

安岡 明雄

改革ネットフック（市民の声、日本共産党、改革のしろ）

気づいたことはすぐ行う市の働き方改革

【質】 先進事例を見ても、ICT活用は目覚ましい発展を遂げている。タブレットを使ったテレビ会議など、積極的な取り組みで業務の効率化、時間外勤務問題に生かすべきではないか。

【答】 本庁舎と二ツ井町庁舎の職員が参集する会議の場合、庁舎間の移動時間が負担になっているとの意見が職員から出されている。オンライン会議システムの導入により負担軽減や業務効率化につながることを考えるが、セキュリティ対策や費用のほか、操作性、意思疎通や効果的な議論ができるか等、運用上の課題がないか、調査・研究していきたい。

市職員の定員適正化計画のあり方

【質】 計画初年度に削減後の職員数の目標値を下回る設定で、わかりづらい計画になっている。専門職採用による業務改善で、業務量を減らしながら質の維持が重要である。当計画の目標数値設定でよいのか。

【答】 第3次計画からは、年々増加する再任用職員を新たに目標数に組み入れ、業務量の状況に応じた職員数を設定したため、このような目標値となったが、再任用を除いた職員数では、年々減少する計画である。社会情勢の変化等により求められる人材も変化するため、専門性も考慮しつつ、さまざまな課題に柔軟に対応できる人材を確保できるよう努めたい。

その他の質問事項

- 齊藤市政4年間の総括（検証）
- 次期政策公約と総合計画の整合性
- 30年度当初予算編成（骨格予算）

各委員会での主な審査概要

総務企画委員会

質 法人市民税が増額しているが業種別の状況は。

答 前年比較のうち分割法人は約半数の業種で納税額が減少しているが、非分割法人では16業種のうち、製造業、運輸業、卸売業、飲食業等の10業種で増額となっている。

質 ふるさと納税について県内では4億円以上の実績を上げている自治体もある。能代市の取り組みとの差は何か。

答 平成29年度は25市町村中9番目に高い寄附額となっており、決して下位ではないと考えるが、本市の露出が不足しているとも考える。今後はシティーセールス等さまざまな手法でPRしていく。

質 第4庁舎と旧淳城第二小学校の跡地はご利用するのか。

答 第4庁舎跡地については公園用地であるため、公園としての活用を検討する。旧淳城第二小学校は約半分が解体されるが、跡地は駐車場等として活用する。

質 道の駅ふたついの指定管理者を、非公募による選定とした経緯は。

答 能代市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例では、施設の設定目的や経緯等を考慮して適当と判断される場合は非公募で選定することができると定められている。株式会社道の駅ふたついは道の駅の運営管理を目的に設置された会社であること、地域に密着した株主の形態による民間の運営組織であり、地域の特性を生かした施設運営が期待されることから総合的に判断し、非公募による選定となった。

質 当初予算で財政調整基金の繰り入れが約13億円となっている理由は。

答 30年度予算は骨格予算のため予算規模は前年比約10億円の減少であるが、財源で考えると起債や補助金が減少していることが要因であり一般財源が減少しているわけではない。その中で地方交付税が約3億円減少したため、財政調整基金から繰り入れたものである。

質 普通財産管理費のアスベスト事前調査業務の対象箇所は。

答 今後公売等が想定されている旧第5庁舎が調査対象となる。

質 いずれ公共施設の廃止や継続を検討していかねばならないが、

その際は利用者や市民の声を聞く必要があるのでは。

答 ある程度の方向性を示した上で、実際に利用している団体や利用者の意見を聞く必要があると考える。

質 若年世帯移住促進奨励金の概要は。

答 本人または配偶者が45歳未満の世帯について、敷金、礼金等賃貸費用を対象として1世帯10万円、子供1人当たり5万円を加算して20万円を上限に助成する新たな制度である。

質 川の駅親水エリアの事故等防止策は。

答 指定管理者に巡回をお願いするとともに、監視モニター、注意喚起の看板を設置して事故防止に努めたい。

質 能代山本広域市町村圏組合負担金の積算根拠は。

答 30年度ははしご車の購入が計画されているほか、デジタル無線の瑕疵担保期間が終了し、定期点検の委託料が必要となり増額となった。

質 はしご車の更新理由は。

答 現在のはしご車は平成3年に購入したものであり、車体本体の部品調達ができなくなってきたため、今後故障等があった場合、車検に合格できないおそれもあるため、新規購入をしようとするものである。

(佐藤智一)

文教民生委員会

質 能代市介護保険条例の一部改正により、介護保険料の負担が大きくなるが、低所得者に対しての軽減対策は検討しているか。

答 国では所得に応じて保険料を9段階に分けているが、市では負担をできるだけ均一にするため11段階に設定している。低所得者階層を軽減するためには、他の階層の負担をふやす必要があることから、第7期計画では現行のまま11段階とつこう。

質 子育てファミリー支援事業費の概要は。

答 平成30年4月2日以降に第3子以降の子が生まれた世帯に対して、未就学期間にかかる一時預かりなどの子育て支援サービスの利用料を、年間1万5000円を上限として助成するもので、所得制限は設けないこととしている。

質 個人番号カードの交付事務により担当職員の時間外勤務がふえていたが、改善策などは検討しているのか。

答 業務の平準化等を行った結果、29年度の時間外勤務は前年度に比べ約4割減少している。今後も係内の研修による職員のスキルアップ、マニュアルの見直しによる効率化等により改善していきたい。

質 がん対策強化について、受診率の向上のため、はがきや電話による受診勧奨以外に何か対策はしているのか。

答 電話での受診勧奨の際には、日曜がん検診、午後の乳がん検診など、仕事等に差し支えない時間帯の受診も提案している。30年度はピロリ菌検査の助成を30歳の方も対象とするほか、35歳の女性を対象に乳房自己検診補助用具の配布を予定している。

質 扶助費の減額理由は。

答 生活保護の廃止世帯は横ばいで推移しているが、開始世帯が減ってきていることから、全体の保護世帯、保護人員が年々減少しており、生活扶助費、医療扶助費、介護扶助費が減額となっている。

質 崇徳小学校及び鶴形小学校並びに常盤中学校の廃止において、学校の校名変更等も含め統合の協議はもっと時間をかけて進めていくべきではなかったか。

答 これまで、各地域と3年半かけて合意形成を図っており、決して拙速だったとは考えていない。

質 能代市奨学金返還助成事業費は、奨学金の半額を助成するとしているが、助成額をもっとふやすことはできないのか。

答 これまで能代市ふるさと人材育成・定住促進奨学金で償還金を半額にできており、それに加え、新たに制度を創設したため、半額を上限として進めたい。

質 ニツ井町庁舎に整備される図書館の規模は。

答 蔵書については1万冊程度を設置し、その後7年くらいかけて1万5000冊までふやしていく予定である。旧議場に閲覧席を12席程度設けるほか、絵本などが読める児童コーナーの設置、旧議員控室は学習室として24席、旧正副議長室はグループ学習室としての利用を考えている。

(落合康友)



文教民生委員会の様子

産業建設委員会

質 健康野菜づくり支援事業費補助金の概要は。

答 この事業は健康のまちづくりの観点から、健康増進効果があるニンニク、キクイモ、シヨウガなど販売目的で栽培する農家を対象に、種苗代の補助を行うもので、特産品づくり等を目的として実施している。今後能代市全域で幅広く利用していただけるよう周知方法を検討したい。

質 木のまちづくり推進事業費の減額理由は。

答 住宅の新築・増改築に伴う秋田杉内装材使用に対する補助を行うもので、実績は、外壁外塀材が9件、内装材が23件の交付となった。減額の要因は、新規の住宅着工件数が減っているためであり、より多くの方に利用していただけるよう、地元紙、広報、建築業者等に周知を努めたい。

質 能代市中小企業融資あっせんに関する条例の一部改正の概要は。

答 小規模企業融資について、限度額を引き上げようとするものである。企業はより融資を受けやすい環境が整い、経営の安定等につながるものと考えている。

質 ニツ井・荷上場地区簡易水道の加入状況は。

答 1月末現在で1149件の加入申請があり、加入率は70.1%となっている。当初の目標値は加入率70%としており達成したが、未加入世帯に対し、今後も加入のお願いの通知をし、広報、各種イベント等でも広くPRに努めたい。

質 北部地区の配水管整備の進捗状況は。

答 平成32年度までの計画を進めており、29年度は落合地内、30年度は落合地区から須田地区にかけて整備することとしている。

質 給水管引き込みの経費を心配する声はないか。

答 これまで自治会長へ説明しているほか、須田・竹生地区については自治会にも説明している。今後は栗山地区の説明会を予定しており、相談等にも心しながら周知に努めたい。

質 (仮称)イオン新能代ショッピングセンターの出店に関連する配水管移設工事負担金の予算計上がこの時期となった経緯は。

答 国土交通省の許可を得て道路拡幅工事を実施するイオン側から、道路管理上支障となる配水管の移設工事を5月から8月の間に行ってほしいとの要望があり、30年度当初予算に計上した。

質 開店時期が示されないのはなぜか。

答 造成時の軟弱地盤対策等で地盤の解析に努めているところであり、期間がつかめないことから開店時期の明示はされていない。

質 猟友会の育成・強化の対策は。

答 市でも30年度から狩猟免許等の取得に対して、一人当たり上限5万円を支援すること等により、新たな狩猟者の確保に努めたい。

質 ミヨウガの根茎腐敗病対策は。

答 29度の実績は、新改植支援は4件、薬剤防除支援は72件で薬剤散布が主体となっており、出荷額は約1億3000万円となっている。

質 わら不足対策は。

答 農協のみよがが部会等の意見を伺いながら、効果的な支援を研究したい。

質 旧料亭金勇魅力向上促進事業の工事内容は。

答 文化庁の補助事業を利用し、外壁・屋根の改修を行うものである。文化庁の指導を仰ぎながら補修等を行う予定で、重要文化財としての外観を損ねることなく工事をしていかなければならないと考えている。

(小林秀彦)

議会基本条例策定 特別委員会

●条例に盛り込む項目の検討
たたき台をもとに、項目ごとに検討を行った。

「最高規範」の項目について

意見 条例間に上下を付けることに疑問を感じる。

意見 最高規範という言葉は誤解を受けかねない。

意見 「条例の位置づけ」あるいは「他の条例等との関係」としたほうがよい。

協議結果 引き続き検討を要する。

「議長等選出前の決意表明」の項目について

意見 議長等の選出は立候補制でないため、決意表明はとくわえない。

意見 項目の見出しから削除したとしても、立候補制または所信表明は必要。

協議結果 項目の見出しは「議長及び副議長の選出」とし、内容については引き続き検討を要する。

「議員間の自由討議」の項目について

意見 他市への視察状況では結果が出ていないと伺っており、削除したほうがよい。

協議結果 引き続き検討を要する。

「報告会および広報の充実」の項目に

ついて

意見 わかりやすくするため、それぞれ条項を分けたほうがよい。

意見 議会活動に関する重要な項目であり、再度会派で検討したい。

協議結果 引き続き検討を要する。

「議会費の要望」の項目について

意見 基本条例の有無にかかわらず可能であるため削除してもよい。

協議結果 引き続き検討を要する。

「緊急事態等への対応」の項目について

意見 今後の検討課題とし、現段階では削除してもよい。

協議結果 引き続き検討を要する。

「たたき台には上げられていないが、県内の多くの市で議会基本条例に盛り込んでいる項目について

意見 本市でも必要性の有無を検討すべきではないか。

協議結果 引き続き検討を要する。

●特別委員会の解散
議員任期の迫る中、残された期間で、より掘り下げた討論を行うことは難しいため、議会基本条例策定特別委員会は3月をもって解散しました。

なお、本委員会でのこれまでの検討内容を生かし、改選後も引き続き議会基本条例の策定に向けた検討を行うことを要望する旨、議会へ報告しました。

(落合康友)

29年度行政視察受入状況

全国の議会では、議員の議案審査や事務に関する調査研究のため、行政視察を行っています。能代市にも毎年多くの議会が訪れています。

29年度は13市議会、94人が来能され、「学力向上の取り組み」について6市が視察したほか、左記の項目について調査研究していかれました。

○来能市議会

- ・福島県二本松市
- ・茨城県下妻市
- ・栃木県宇都宮市
- ・埼玉県北本市
- ・埼玉県ふじみ野市
- ・千葉県原市
- ・新潟県十日町市
- ・長野県佐久市
- ・愛知県江南市
- ・京都府舞鶴市
- ・大阪府大阪市
- ・沖縄県沖縄市
- ・鹿児島県薩摩川内市

○視察項目

- ・学力向上の取り組み
- ・能代ふれあいプラザ・サンピノ
- ・新庁舎建設に至るまでの経緯及び議会のかかわり
- ・教育環境の整備（学校統合）
- ・特色あるまちづくり
- ・健康チャレンジポイント
- ・観光振興策
- ・JAXAとのかかわりと銀河連邦交流事業
- ・子ども館の取り組み
- ・能代市人口ビジョン
- ・消防団員確保の取り組み

平成29年度 政務活動費を公表します

政務活動費は、議員の調査研究、その他の活動に資するため必要な経費の一部として、議員個々に交付しています。交付額は月額1万円です。

会派名	議員名	交付額	実績額	残額	使 途 内 容
平政・公明党	渡邊正人	120,000	120,000	0	調査研究費／福岡県北九州市・大分県豊後高田市・熊本県菊池市 (7月12日～15日)【会派】 ・水素社会に向けた取り組みについて(北九州市) ・環境ミュージアム(北九州エコハウス)の現地視察(北九州市) ・昭和の町を再生しての町おこしの現地視察(豊後高田市) ・交通コミュニティ対策事業について(菊池市) 資料購入費／「現行自治六法」【針金】
	落合範良	120,000	120,000	0	
	針金勝彦	120,000	120,000	0	
	原田悦子	120,000	120,000	0	
	庄司紘八	120,000	120,000	0	
	渡辺優子	120,000	120,000	0	
	後藤 健	120,000	120,000	0	
藤原良範	120,000	120,000	0		
希望	武田正廣	120,000	97,190	22,810	調査研究費／高知県大豊町・南国市・愛媛県内子町 (5月9日～11日)【会派(武田(10日～11日))】 ・工場の概要・製材工程・供給体制・バイオマス等について(高知おおとよ製材株式会社)(大豊町) ・還元野菜プロジェクトの取り組みと課題について(南国市) ・C L T 構造物の現地視察(高知県森林会館)(南国市) ・地域雇用を広げる運営モデルの取り組みと今後について(内子フレッシュパークからり)(内子町)
	菅原隆文	120,000	104,070	15,930	
	佐藤智一	120,000	104,070	15,930	
	伊藤洋文	120,000	104,070	15,930	
	安井和則	120,000	104,070	15,930	
(市民の声、日本共産党、改革のしる)	菊地時子	120,000	75,312	44,688	研 修 費／平成29年度第2回トップマネジメントセミナー 「災害対応力の強化に向けて」 (滋賀県大津市、11月20日～21日) 【菊地、小林、渡辺(芳)、藤田】 青森中央学院大学佐藤淳研究室公開講座 「体験型ワールドカフェ・ファシリテーター養成講座」 (青森県青森市、5月10日)【安岡】 第5期現場みらい塾 (東京都千代田区・中央区、6月23日～24日)【安岡】 資料購入費／「Q&A地方公務員の臨時・非常勤職員制度改正のポイント」ほか【安岡】
	小林秀彦	120,000	75,312	44,688	
	安岡明雄	120,000	84,054	35,946	
	渡辺芳勝	120,000	75,312	44,688	
	藤田克美	120,000	75,312	44,688	
議会の改革を推進する諸派の会	小野 立	110,000	101,700	8,300	調査研究費／福岡県北九州市(1月17日～18日)【落合(康)】 ・リノベーションのまちづくりについて 研 修 費／全国若手市議会議員の会 北信越ブロック研修会 (長野県佐久市、5月22日～23日)【小野】 全国若手市議会議員の会 O B会との合同研修会 (福島県いわき市、7月18日～19日)【小野】 資料購入費／「地域マーケティングの核心」ほか【中田】
	落合康友	120,000	102,260	17,740	
	中田 満	120,000	118,458	1,542	
	畠山一男	120,000	0	120,000	

※【会派】 会派に属する全員で実施または支払ったものです。

※調査研究費・研修費に使用した場合は、議長に対し調査報告書が提出されます。また、資料購入費に使用した場合は、全て領収書が添付されています。

※残額は市に返還されます。

※小野議員は2月で辞職したため、3月分は交付されません。

議長の交際費を公開します 《1月～3月分》

・能代商工会議所「2018年新春のつどい」	5,000円
・秋田銀行能代支店・能代南支店合同新年交歓会	7,000円
・二ツ井町観光協会新年会	5,000円
・能代青年会議所・シニアクラブ合同新年祝賀会	6,000円
・内外情勢調査会・1月支部懇談会・賞詞交換会	3,000円
・二ツ井町商工会新春の集い	5,000円
・能代商工会所青年部・青年部OB会合同新年会	5,000円
・NPO法人能代市体育協会第22回スポーツ医学研修講座レセプション	4,000円
・NPO法人能代市体育協会「新春の集い」	5,000円
・木高研・推進機構・行政と木材関連業界との交流会	5,000円
・北都親交会 懇親会	5,000円
・能代山本北都会の懇親会	5,000円
・二ツ井藤里地区交通安全協会通常総会後の懇親会	5,000円
・火災予防功労等表彰式後の懇親会	5,000円
・能代山本医療福祉総合エリアを守り育てる友の会の懇親会	5,000円
・関東能代会桜樹樹記念懇談会後の懇親会	5,000円
・能代商工会議所通常議員総会後の懇親会	5,000円
・二ツ井観光協会臨時総会後の懇親会	5,000円

※詳しくは新庁舎1階の行政情報コーナーで閲覧できます。

※議長交際費は「能代市長の交際費に関する規定」に準じて支出しております。

2月9日に議員等が実際にタブレット端末の操作体験をすることも、利活用事例の講習を受けました。研修会には11人の議員と7人の市職員が参加し、タブレット端末に触れながら、文書共有システムを体験するなどして、議会におけるタブレット端末の利活用について認識を深めました。

タブレット操作研修会
を行いました

議長の主な動き 1月～3月

- ・能代市消防出初式
- ・合同厄年祓祭
- ・秋田県市議会議長会定例会
- ・能代山本広域市町村圏組合議会定例会
- ・能代市栄光賞授与式
- ・NPO法人能代市体育協会「スポーツ賞授与式」
- ・能代市チャレンジデー実行委員会
- ・市制施行記念能代市表彰式

議会の主な動き

- 1月10日 総務企画委員会協議会
- 24日 議会基本条例策定特別委員会
- 29日 産業建設委員会協議会
- 2月2日 総務企画委員会協議会
- 7日 文教民生委員会協議会
- 13日 会派代表者会議
- 20日 議会運営委員会
- 27日 会派代表者会議
- 3月5日 各常任委員会
- 6日 会派代表者会議
- 8日 議会運営委員会
- 14日 議会基本条例策定特別委員会
- 3月定例会開会

請願・陳情の提出

請願・陳情の提出は、定例会開会日の午前10時までとなっております。

問責決議

小野議員に対する問責決議案（議会議案第1号）が提出され、賛成多数で可決しました。

趣旨説明（要約）

小野議員は、平成29年12月定例会での自身の一般質問における発言の一部について、みずから発言取消申出書を提出した。その発言内容は事実確認がされておらず、客観的な根拠が不明であり、市民や近隣町村の住民に不安や不利益を招くおそれがある内容となっていたことから、12月20日の本会議で全会一致で許可した取り消された発言は一般に公表される会議録には記載されない。

しかしその後、自身のSNSでこの取り消した発言内容を掲載したため、2月13日開催の議会運営委員会で問題提起され、その対応については2月27日開催の同委員会にて協議することとしていたが、2月20日に議員辞職願が提出された。

小野議員は「発言内容は正確」と述べながら、事実だとする根拠を示していないこと、議会運営委員会でみずからの言動について説明せず、また議会運営委員長としての職責を全うすることなく会議を欠席したことから、議員としての道義的責任を問うとともに次の事項を求めます。

- 1 取り消した発言内容が事実だとする根拠を明確に示し、公表することで議員としての説明責任を果たすこと。
- 2 前項の説明ができない場合は、能代市民及び近隣町村の住民に対して不安を与える内容であることから、公の場で陳謝すること。
- 3 説明の有無にかかわらず、議会の決定で非公表とした発言をSNSから削除すること。

【議会を傍聴しませんか】

5月臨時会及び6月定例会の本会議は、本庁舎（新庁舎）3階の議場で行う予定です。日程は未定ですが、決まり次第市ホームページでお知らせします。

本会議はどなたでも傍聴できますのでお気軽においでください。備え付けの「傍聴者名簿」に氏名・住所を記入し、傍聴席へお入りください。

また、耳の聞こえにくい方が音声を取りやすくなるための装置である磁気ループシステムを議場傍聴席に導入しています。利用を希望される場合は、傍聴希望日の前日（土曜・日曜及び祝日を除く）までに議会事務局にお申し出ください。

本会議のインターネット中継も行っています

インターネット動画サイト「YouTube」を利用し、本会議のライブ中継と録画中継を行っています。市ホームページ「能代市議会」のページでも本会議の様子を見ることが出来ます。

なお、本庁舎（新庁舎）1階市民交流スペース及び二ツ井町庁舎1階市民フロアに、設置している大型モニターでもライブ中継を見ることが出来ます。

会議録が閲覧できます

市ホームページ等から市議会会議録の検索と閲覧ができます。下記URLからご覧いただけます。

能代市議会会議録の検索と閲覧

<http://ssp.kaigiroku.net/tenant/noshiro/pg/index.html>

編集後記

個人的には雑誌とか新聞感覚で楽しめる画期的な広報スタイルもいんじゃないかな?と思いつつ、市民目線で親しみやすい議会だよりを目指し、4年間議会だより編集委員・議会広報委員を務めてきました。実現できなかったアイデアもあり、まだまだ道半ばだと思っておりますが、読者である市民の皆様の率直な御意見を伺いたいところです。

昨年12月に議会だより編集委員会は広報委員会へと生まれ変わり、議会だよりだけではなく、議会ネットワーク、能代市議会ホームページも合わせ、広範な議会広報活動を担うことになりました。今後とも、市民にとってより一層身近な議会であるよう、広報機能のレベルアップを図っていきます。

【御意見・御感想をお寄せください】のしろ市議会だより「わたしのまち」をごらんになった皆様の御意見・御感想をお待ちしております。

〒016-8501 能代市上町1番3号

能代市議会事務局宛

能代市議会 広報委員会

委員長	落合 康
副委員長	佐藤 智
委員	小原 秀
菅原 隆	菅原 隆
落合 正	落合 正
中田 範	中田 範
落合 良	落合 良